

国際交流

- 1 留学生の受入れ体制と状況
- 2 留学生の教育・研究指導の方法と体制
- 3 在学生の海外留学・研修の状況
- 4 教官の在外研究の状況
- 5 外国人研究者の招致の状況
- 6 論文博士号取得希望者の受入れ状況
- 7 海外の大学との交流協定の締結状況と活動状況

国際交流

本学部では20数年前から活躍してきた学外・海外協力委員会が国際交流の役割を担ってきたが、岐阜大学国際交流委員会の設置に伴い、その名称を医学部国際交流委員会とした。さらに平成8年度に岐阜大学に留学生センターが設置されたことをうけ、留学生交流専門委員会と学术交流専門委員会に医学部国際交流委員会から委員を送っている。

医学部が基幹となって推進した大学間交流協定校としては中華人民共和国の浙江医科大学と中国医科大学、フィリピンのサントトマス大学があり、留学生の受入れ、研究者の交流、情報交換、共同研究が行われている。外国からの留学による大学院修了者の中には学位取得後、本学部の教員として教育・研究に活躍している人もいる。

1 留学生の受入れ体制と状況

最近3年間の受入状況は下表の通りであり、年々留学生の数が増加する傾向にある。

年度別、国別外国人留学生数

(以下リンク内容)

| | 平成5年度 | | | | 平成6年度 | | | | 平成7年度 | | | |
|---------|-------|----|----|----|-------|----|----|----|-------|----|----|----|
| | 国費 | 県費 | 私費 | 計 | 国費 | 県費 | 私費 | 計 | 国費 | 県費 | 私費 | 計 |
| 学部学生 | | | 9 | 9 | | | 9 | 9 | | | 9 | 9 |
| 大学院学生 | 12 | | 8 | 20 | 13 | 0 | 13 | 26 | 14 | | 17 | 31 |
| 研究生 | 2 | | 2 | 4 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 |
| (国別内訳) | | | | | | | | | | | | |
| 中華人民共和国 | 2 | | 12 | 14 | 3 | | 14 | 17 | 4 | | 18 | 22 |
| フィリピン | 2 | | | 2 | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| 台湾 | | | 6 | 6 | | | 5 | 5 | | | 5 | 5 |
| 韓国 | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 |
| ミャンマー | 1 | | | 1 | | | | | | | | |
| ブラジル | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | 2 | 1 | | | 1 |
| イラン | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 |
| イラク | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | |
| バングラデシュ | 6 | | | 6 | 7 | | 1 | 8 | 8 | | 2 | 10 |
| 計 | 14 | | 19 | 33 | 13 | 1 | 22 | 36 | 14 | | 27 | 41 |

留学生一覧 (大学院学生及び研究生) (平成 5 年度～平成 7 年度) その 1

(以下リンク内容)

留学生一覧 (大学院学生及び研究生)

(平成 5 年度～平成 7 年度)

| 氏 名 | 国 籍 | 費用区分 | 身 分 | 期 間 |
|-------------------------------|---------|------|-------|---------------------|
| 李 娜 | 中華人民共和国 | 私 費 | 大学院学生 | 1989年11月～1994年 3 月 |
| SANTOS DIVINA ESTEFANIO | フィリピン | 国 費 | 〃 | 1990年 1 月～1994年 3 月 |
| KYU KYU SWE WIN | ミャンマー | 〃 | 〃 | 1990年 4 月～1994年 3 月 |
| AL-ESSA LUAY YOUSIF | イ ラ ク | 〃 | 〃 | 1990年 4 月～1995年 3 月 |
| 劉 国 民 | 中華人民共和国 | 私 費 | 〃 | 1990年 4 月～1994年 3 月 |
| 汪 愛 今 | 〃 | 国 費 | 〃 | 1991年 2 月～1996年 3 月 |
| 胡 耀 花 | 〃 | 〃 | 〃 | 1991年 4 月～1996年 3 月 |
| 倪 卉 屏 | 〃 | 私 費 | 〃 | 1991年 4 月～1995年 3 月 |
| 迟 啓 民 | 〃 | 〃 | 〃 | 1991年 4 月～1995年 3 月 |
| 柯 光 哲 | 台 湾 | 〃 | 研 究 生 | 1991年 4 月～1993年 3 月 |
| ALAM MD SHARIFUL | バングラデシュ | 国 費 | 大学院学生 | 1991年10月～1996年 3 月 |
| HAQUE MOHAMMAD SABBIR REZA | 〃 | 〃 | 〃 | 1991年10月～1996年 3 月 |
| EMADUDDIN MUHAMMAD | 〃 | 〃 | 〃 | 1992年 1 月～1996年 3 月 |
| REZVI GOLAM MD MARUF | 〃 | 〃 | 〃 | 1992年 1 月～1996年 3 月 |
| MIRBOD FARIBA | イ ラ ン | 〃 | 〃 | 1992年 1 月～現在 |
| TAKEMURA ORLANDO SEIKO | ブ ラ ジ ル | 〃 | 〃 | 1992年 4 月～現在 |
| AHMED SHAH MOKADDAS SELIM | バングラデシュ | 〃 | 〃 | 1992年 4 月～現在 |
| 張 唯 | 中華人民共和国 | 私 費 | 〃 | 1992年 4 月～1996年 3 月 |
| 聂 華 | 〃 | 〃 | 研 究 生 | 1992年 4 月～1994年 3 月 |
| 宋 向 前 | 〃 | 〃 | 〃 | 1992年 6 月～現在 |
| 楊 文 毅 | 〃 | 国 費 | 大学院学生 | 1992年10月～現在 |
| LORENZO I PERGRIN RAMOS | フィリピン | 〃 | 研 究 生 | 1993年 1 月～1994年 3 月 |
| CHOWDHURY MD SYED AHSAN | バングラデシュ | 〃 | 大学院学生 | 1993年 1 月～現在 |
| 刘 波 | 中華人民共和国 | 〃 | 〃 | 1993年 1 月～現在 |
| KHAN QUAYUM ABDUL | バングラデシュ | 〃 | 〃 | 1993年10月～現在 |

留学生一覧 (大学院学生及び研究生) (平成 5 年度～平成 7 年度) その2

(以下リンク内容)

留学生一覧 (大学院学生及び研究生)

(平成 5 年度～平成 7 年度)

| 氏 名 | 国 籍 | 費用区分 | 身 分 | 期 間 |
|-------------------------------|-----------|------|-------|------------------|
| 李 娜 | 中華人民共和国 | 私 費 | 大学院学生 | 1989年11月～1994年3月 |
| SANTOS DIVINA ESTEFANIO | フ ィ リ ピ ン | 国 費 | 〃 | 1990年1月～1994年3月 |
| KYU KYU SWE WIN | ミ ャ ン マ ー | 〃 | 〃 | 1990年4月～1994年3月 |
| AL-ESSA LUAY YOUSIF | イ ラ ク | 〃 | 〃 | 1990年4月～1995年3月 |
| 劉 国 民 | 中華人民共和国 | 私 費 | 〃 | 1990年4月～1994年3月 |
| 汪 愛 今 | 〃 | 国 費 | 〃 | 1991年2月～1996年3月 |
| 胡 耀 花 | 〃 | 〃 | 〃 | 1991年4月～1996年3月 |
| 倪 卉 屏 | 〃 | 私 費 | 〃 | 1991年4月～1995年3月 |
| 迟 啓 民 | 〃 | 〃 | 〃 | 1991年4月～1995年3月 |
| 柯 光 哲 | 台 湾 | 〃 | 研 究 生 | 1991年4月～1993年3月 |
| ALAM MD SHARIFUL | バングラデシュ | 国 費 | 大学院学生 | 1991年10月～1996年3月 |
| HAQUE MOHAMMAD SABBIR REZA | 〃 | 〃 | 〃 | 1991年10月～1996年3月 |
| EMADUDDIN MUHAMMAD | 〃 | 〃 | 〃 | 1992年1月～1996年3月 |
| REZVI GOLAM MD MARUF | 〃 | 〃 | 〃 | 1992年1月～1996年3月 |
| MIRBOD FARIBA | イ ラ ン | 〃 | 〃 | 1992年1月～現在 |
| TAKEMURA ORLANDO SEIKO | ブ ラ ジ ル | 〃 | 〃 | 1992年4月～現在 |
| AHMED SHAH MOKADDAS SELIM | バングラデシュ | 〃 | 〃 | 1992年4月～現在 |
| 張 唯 | 中華人民共和国 | 私 費 | 〃 | 1992年4月～1996年3月 |
| 聂 華 | 〃 | 〃 | 研 究 生 | 1992年4月～1994年3月 |
| 宋 向 前 | 〃 | 〃 | 〃 | 1992年6月～現在 |
| 楊 文 毅 | 〃 | 国 費 | 大学院学生 | 1992年10月～現在 |
| LORENZO I PERGRIN RAMOS | フ ィ リ ピ ン | 〃 | 研 究 生 | 1993年1月～1994年3月 |
| CHOWDHURY MD SYED AHSAN | バングラデシュ | 〃 | 大学院学生 | 1993年1月～現在 |
| 刘 波 | 中華人民共和国 | 〃 | 〃 | 1993年1月～現在 |
| KHAN QUAYUM ABDUL | バングラデシュ | 〃 | 〃 | 1993年10月～現在 |

2 留学生の教育・研究指導の方法と体制

- (1) 岐阜大学には、日本語の基礎を勉強する留学生センターが設置されており、日本語クラスは1クラス2期制で、第1期9コマ、第2期6コマの授業が実施されている。また、医学部の留学生に対しては特別クラスが設けられており、週2回非常勤講師による指導がなされている。
- (2) 留学生の個別指導に関しては、チューター制がとられており、チューターによる留学生特別指導が入学後2年間(大学院学生は1年間)行なわれており、日本語、専門教育補充の両面から効果的に留学生を指導している。医学部、医学研究科における留学生の専門教育に関しては、基本的には日本人学生の場合と異なることなく、学部においては授業を通じて各教官による指導が、また大学院にあっては研究の指導を通してそれぞれ特定の指導教官の下での指導が中心になっている。

3 在学生の海外留学・研修の状況

医学部学生の海外留学については、医学部の特殊性もあって休学により留学することとなるが、積極性に富んだ学部学生による海外留学がみられる。

大学院学生については、2年以内に限り、外国における研究指導を在学期間に算入することが認められている。

4 教官の在外研究の状況

文部省在外研究員，日本学術振興会派遣研究者制度による長期，短期の海外での研究・指導，文部省科学研究費による海外学術調査研究の他に，教官の海外研修も盛んである。

在外研究の状況 (1993年 - 1996年)

村川真司：ドイツ (心臓血管外科手術手法の修得及び臨床研究 1992年3月 - 1994年2月)

千賀省始：ドイツ・ハノーファー大学 (研修 1992年10月 - 1993年4月)

横山康宏：アメリカ合衆国・マウントサイナイ大学 (癌細胞の薬剤耐性獲得機構の研究を行うため 1992年7月 - 現在)

石井光一：アメリカ合衆国・エール大学 (整形外科の臨床見学及び基礎的研究 1992年11月 - 現在)

恩田鋭治：アメリカ合衆国・RSD Neurological Sciences Institute (研究 1992年3月 - 1994年2月)

川瀬和秀：アメリカ合衆国・Alcov Laboratories INC (研究 1993年1月 - 1994年12月)

宗 友厚：アメリカ合衆国 (11 - ヒドロキシステロイド・デハイドナーゼの研究 1993年10月1日 - 1994年7月31日)

林 勝知：アメリカ合衆国 (大腸全摘後の再建術式に関する検討 1993年10月1日 - 1994年7月31日)

安岡 忠：連合王国 (顎骨腫瘍に対する凍結外科療法を用いた再建及び骨形態計測の手技を応用した再植骨の改造の研究 1994年11月9日 - 1994年9月8日)

恵良聖一：アメリカ合衆国 (核磁気共鳴法によるタンパク質の構造と機能に関する研究 1994年7月9日 - 1994年9月4日)

川島 卓：アメリカ合衆国 (大脳運動野機能の生理学的研究 1995年6月1日 - 1996年8月31日)

高岡 健：連合王国 (児童青年精神医学・産業社会と精神発達に関する研究 1996年2月16日 - 1996年7月15日)

細江英夫：カナダ (腰椎画像と腰痛との関連に関する研究 1995年12月1日 - 1996年4月30日)

最近 3 年間の海外渡航状況

(以下リンク内容)

| 最近3年間の海外渡航状況 | | | |
|--------------|-------|-------|-------|
| 区分 | 平成5年度 | 平成6年度 | 平成7年度 |
| 外国出張 | 52 | 57 | 65 |
| 海外研修 | 73 | 78 | 96 |
| 計 | 125 | 135 | 161 |

5 外国人研究者の招致の状況

国際社会の中で、経済大国であり、しかも高度先進国として評価の高い我が国での研究や研究協力を希望する外国人研究者は非常に多く、医学部においても次のとおり関連領域の研究者が専門分野での研究、技術修得あるいは情報交換等を目的として来学している。

外国人研究者招致状況 その1

(以下リンク内容)

外国人研究者招致状況

| 氏名 | 国籍 (所属・職名) | 目的 | 期間 | 備考 |
|---------------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------------|-------------------------------|
| マイケル・フォン・ リュースティングハウゼン | ドイツ (ヴェルツブルグ大学 教授) | 特別講義及び関節の血管支配 についての研究 | 1995年5月10日 －5月14日 | |
| オノリオ・E・ デラクルス | フィリピン (ダバオ医科大学 教授) | 神経作用性ペプチドの分離 及びその作用に関する研究 | 1993年11月16日 －11月26日 | 文部省科学研究費 国際学術研究共同 研究 |
| ユースタシア・M・ リゴル | フィリピン (サントマス大学医学部 教授) | 神経作用性ペプチドの分離 及びその作用に関する研究 | 1994年9月25日 －10月4日 | 交流協定大学研究 者交流 |
| リリアン・J・シソン | フィリピン (サントマス大学理学部 教授) | 大学における理科系教育の問 題点 | 1994年9月25日 －10月4日 | 交流協定大学研究 者交流 |
| ジョセフィン・M・ ルミタオ | フィリピン (サントマス大学医学部 助教授) | 軟体動物駆除剤の汚染と生体 内濃度 | 1995年9月25日 －10月5日 | 文部省科学研究費 国際学術研究大学 間協力研究 |
| アナトリー・エゴロフ | ロシア (厚生省医学・生物学研究所 主任教授) | 特別講義 | 1996年11月22日 | |
| トーマス・ シュライック | アメリカ合衆国 (カリフォルニア大学理学部 教授) | 研究討論 | 1993年10月24日 | |
| ジャック・フリード | アメリカ合衆国 (コーネル大学理学部 教授) | 特別講演 | 1995年7月11日 | |
| ハルギタ・ハルシ | ハンガリー (セメルweis大学 研究員) | G蛋白質遺伝子発現とホルモ ン応答に関する研究 | 1993年3月26日 －5月26日 | ハンガリー科学ア カデミー 日本学術振興会 |
| ガイ・A・トムソン | アメリカ合衆国 (テキサス大学理学部 教授) | 特別講演及び研究討論 | 1993年4月9日 | |

外国人研究者招致状況 その2

(以下リンク内容)

| 氏名 | 国籍 (所属・職名) | 目的 | 期間 | 備考 |
|-------------------------|---------------------------------|---------------------------|------------------------|-----------------------------|
| グロリア・ド・ カストロ・ベルナス | フィリピン (サントトマス大学医学部 教授) | 尿中 hCG の精製 | 1994年 3月28日 - 5月27日 | |
| エドワード・ ラベチナ | アメリカ合衆国 (ウエルカム会社 主任研究員) | 特別講演及び研究討論 | 1995年 7月 2日 - 7月 3日 | |
| モルディカイ・ リスコピッチ | イスラエル (ワイズマン科学研究所 主任研究員) | 特別講演及び研究討論 | 1995年 7月 1日 - 7月 2日 | |
| ピーター・コバッチ | ハンガリー (セメルweis大学 講師) | 細胞情報伝達機構の分子遺伝 的解析 | 1995年 9月27日 -11月27日 | ハンガリー科学ア カデミー 日本学術振興会 |
| Joseph Owiti Oundo | ケニア (中央医学研究所) | 細菌性下痢症 (分子生物学手 法) の研究 | 1993年 2月15日 - 3月31日 | JICA |
| Willie Kipkemboisang | ケニア (中央医学研究所 上級研究官) | 細菌性下痢症の研究 | 1993年10月 9日 -12月22日 | JICA |
| Sunee Korbsrisate | タイ (シリアーヂュ病院 講師) | 遺伝学の研究 | 1995年10月 2日 -11月30日 | 日本学術振興会 |
| Espevanza C Cabrera | フィリピン (アラサル大学 助教授) | 抗酸菌の遺伝学的同定の研究 | 1996年 2月 1日 - 3月31日 | 日本学術振興会 |
| Mimi C. Yu. | アメリカ合衆国 (南カリフォルニア大学 教授) | がんの疫学研究 | 1993年 6月21日 | |
| Leslie Bernstein | アメリカ合衆国 (南カリフォルニア大学 教授) | がんの疫学研究 | 1994年 1月10日 | |
| Hankin | アメリカ合衆国 (ハワイ大学 教授) | 栄養疫学研究 | 1994年 4月12日 | |
| Matt Kaplan | アメリカ合衆国 (ハワイバシフィック大学 助教授) | 世代間の協同交流促進の研究 | 1994年10月 4日 | |
| Mariette Gerber | フランス (トゥルース大学 教授) | 地中海地方の食生活と日本の 食生活の比較研究 | 1996年 3月26日 - 4月26日 | |
| アナ・フリッサー | メキシコ (国立自治大学医学部 教授) | 囊虫症血清診断の研究 | 1994年 7月30日 - 8月 5日 | 文部省科学研究費 国際学術研究共同 研究 |
| ユーン・コング | 大韓民国 (国立科学技術院 主任研究官) | 囊虫症血清診断の研究 | 1994年 4月26日 - 4月30日 | 文部省科学研究費 国際学術研究共同 研究 |

外国人研究者招致状況 その3

(以下リンク内容)

| 氏 名 | 国 籍 (所属・職名) | 目 的 | 期 間 | 備 考 |
|------------------------|---|-----------------------|--------------------------|----------------------------|
| ユーン・コング | 大韓民国 (国立科学技術院主任研究官) | 囊虫症血清診断の研究 | 1995年8月10日 －8月22日 | 文部省科学研究費 国際学術研究共同 研究 |
| マリア・セシリア | ブラジル (サンパウロ大学獣医学部 教授) | 小形条虫感染における免疫 応答の研究 | 1995年8月28日 －9月11日 | 日本学術振興会2 国間交流 |
| アグスチン・ ブランカルテ | メキシコ (国立自治大学医学部 教授) | 囊虫症血清診断の研究 | 1996年1月21日 －2月2日 | 文部省科学研究費 国際学術研究共同 研究 |
| S. P. Sinha. Babu | インド (ヴィスヴァ・バラチ大学 講師) | 生薬の殺虫作用の研究 | 1994年8月1日 －8月31日 | |
| ロビン・フレージャー | ニュージーランド (クライストチャーチ大学 教授) | 研究セミナー | 1994年9月9日 －9月10日 | |
| ルイジ・M・テルーカ | アメリカ合衆国 (NIH 部長) | 研究セミナー | 1993年5月18日 －5月19日 | |
| フィリップ・ハリソン | 連合王国 (キングズ大学) | 研究セミナー | 1995年7月25日 －7月26日 | |
| ネルソン・ファウスト | アメリカ合衆国 (ワシントン大学 教授) | 研究セミナー | 1995年7月25日 －7月26日 | |
| サイモン・J・ルネ | デンマーク (グロストップ大学 教授) | 特別講演 | 1995年7月26日 －7月27日 | |
| 菱 新 斌 | 中華人民共和国 | 非常勤講師 | 1995年4月1日 -1996年3月31日 | |
| Suad. Efendic | スウェーデン | 特別講演 | 1994年11月14日 | |
| Duk Yong Lee, M. D. | 大韓民国 (Department of Pediatric Orthopedic Surgery Seoul National University Chil- dren s Hospital) | 第6回小児整形外科学会招待 講演 | 1995年11月24日 －11月25日 | |
| J. Brown, M. D. | アメリカ合衆国 (University of Iowa) | 第20回日本股関節学会招待 講演 | 1993年11月4日 －11月5日 | |
| Chen J. Y., M. D. | 中華人民共和国 (Shanghai Second Medical University) | 第20回日本股関節学会招待 講演 | 1993年11月4日 －11月5日 | |
| Zhang J. M. D. | 中華人民共和国 (Shanghai Second Medical University) | 第6回日本小児整形外科学会 招待講演 | 1995年11月2日 －11月25日 | |

外国人研究者招致状況 その4

(以下リンク内容)

| 氏 名 | 国 籍 (所属・職名) | 目 的 | 期 間 | 備 考 |
|-------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----|
| Wang C. W., M. D. | 中華人民共和国 (Beijing Medical University) | 第6回日本小児整形外科学会 招待講演 | 1995年11月2日 -11月25日 | |
| W. T. Couldwell | カナダ (ノースダコタ大学医学部 脳神経外科) | 特別講演 | 1995年10月23日 | |
| 張 尉 | 中華人民共和国 (ノースダコタ大学医学部 脳神経外科) | 共同研究 | 1995年10月1日 -10月27日 | |
| Lee | アメリカ合衆国 (サウザンイリノイ大学 薬理学教授) | 特別講演 | 1995年12月6日 | |
| ジョエル・シューマン | アメリカ合衆国 (タフト大学 助教授) | 特別講演 | 1995年4月17日 | |
| リナ・ダウグリエナ | リトアニア (カウナス大学眼科 医師) | 緑内障の研究 | 1995年4月 -現在 | |
| キム・パーク | 大韓民国 (ソウル大学 講師) | 視神経解析の研究 | 1995年6月 -11月 | |
| エバ・ヒギンボサム | アメリカ合衆国 (ミシガン大学 助教授) | 研究討議 | 1993年9月 | |
| Stephen. I. Katz. | アメリカ合衆国 (国立ガン研究所皮膚科主任) | 特別講演 | 1993年4月9日 -4月11日 | |
| Arthur. P. Bertolino | アメリカ合衆国 (ニューヨーク大学皮膚科 準教授) | 特別講演 | 1993年4月9日 -4月11日 | |
| A. Mayer-da- Silva. | ポルトガル (サンタマリア病院皮膚科 助教授) | ◇ | ◇ | |
| Guy. A. Thompson. Jr | アメリカ合衆国 (テキサス大学植物学科教授) | ◇ | ◇ | |
| Georg. Stingl. | オーストリア (ウィーン大学皮膚科 教授) | ◇ | ◇ | |
| Amir. H. Mehrxgan | アメリカ合衆国 (ウェイン大学皮膚科 教授) | ◇ | ◇ | |
| Hsin. Su. Yu | 中華人民共和国 (高雄医科大学皮膚科 教授) | ◇ | ◇ | |
| Xi-Ran. Lin | 中華人民共和国 (大連医学院皮膚科 教授) | ◇ | ◇ | |

外国人研究者招致状況 その5

(以下リンク内容)

| 氏名 | 国籍 (所属・職名) | 目的 | 期間 | 備考 |
|----------------------------|--|-----------------------|-----------------------|----|
| Tian. Huang | 中華人民共和国 (大連医学院皮膚科 教授) | 特別講演 | 1993年4月9日 - 4月11日 | |
| Chu-Kwan. Wong | 中華人民共和国 (陽明学院皮膚科 教授) | 〃 | 〃 | |
| Thomas. A. Medsger. Jr. | アメリカ合衆国 (ピッツバーグ大学リウマチ 及び臨床免疫学科 教授) | 〃 | 〃 | |
| Edward. Carwile. Leroy. | アメリカ合衆国 (サウスカロライナ医科大学 物療内科 教授) | 〃 | 〃 | |
| Miroslav. Blamenberg. | アメリカ合衆国 (ニューヨーク大学皮膚科 助教授) | 特別講演 | 1993年11月2日 | |
| Werner. W. Franke. | ドイツ (ガン研究センター 細胞生物学科 教授) | 特別講演 | 1994年10月26日 | |
| Akira. Takashima. | アメリカ合衆国 (テキサス大学皮膚科 助教授) | 特別講演 | 1995年5月16日 | |
| Kathleen. J. Green. | アメリカ合衆国 (ノースウェスタン大学 病理学皮膚科学 助教授) | 特別講演 | 1995年8月31日 - 9月1日 | |
| Walter. M. Holleran. | アメリカ合衆国 (カリフォルニア大学 皮膚科 助教授) | 〃 | 〃 | |
| Lnciano. Polonelli. | イタリア (パルマ大学細菌学 教授) | 特別講演 | 1995年10月23日 | |
| デイビッド・テイラー・ ロビンソン | イギリス (セントメアリー病院 医科大学 教授) | 研究討論 | 1995年8月23日 - 8月25日 | |
| Andreas. Gal. | ドイツ (リューベック大学医学部 教授) | 講演(先天代謝異常症の遺伝 子解析) | 1993年11月16日 | |
| Hodjattallah. Rabbani. | スウェーデン (カロリンスカ研究所 研究員) | 免疫不全症の解析研究 | 1993年7月27日 - 8月9日 | |
| Nobumichi. Hozumi. | カナダ (トロント大学免疫学 教授) | 講演(免疫, アレルギー学) | 1993年12月18日 | |
| Thomas. K. Henthorn. | アメリカ合衆国 (ノースウェスタン大学 医学部麻酔科 助教授) | 講演 | 1994年12月5日 | |

外国人研究者招致状況 その6

(以下リンク内容)

| 氏名 | 国籍 (所属・職名) | 目的 | 期間 | 備考 |
|--------------------|----------------------------------|--|-----------------------|-------|
| マービン・メイズ | アメリカ合衆国 (スタンフォード大学麻酔科 助教授) | 講演 | 1994年4月 | |
| 宋 樺 | 中華人民共和国 | 脳脊髄液を用いた痴呆, 神経 疾患などの診断に関する研究 | 1993年3月 -現在 | 大学院学生 |
| 費 華 | 中華人民共和国 | 血清高比重リボ蛋白重分画に 関する研究 | 1994年10月 -1995年9月 | 笹川財団 |
| Sanford, P. Markey | アメリカ合衆国 (NIH 教授) | 学会講演及び研究討論 | 1995年10月1日 -10月9日 | |
| J. D. Cooke | カナダ (ウエスタンオンタリオ大学 教授) | 特別講演等 | 1993年5月1日 -5月2日 | |
| B. Johansson | スウェーデン (ルンド大学 教授) | 反射研究施設視察, 研究打合 せ | 1993年6月3日 | |
| エリザベス・ナジィー | ハンガリー (アルバートセントジョルジ 大学 教授) | 研究討論及び施設見学 | 1996年6月6日 | |
| 刘 承旭 | 中華人民共和国 (瀋陽新薬製薬工場 助理工程師) | 共同研究 (嫌気性菌の産生す る毒素に関する分子遺伝学的 研究) | 1996年4月1日 -現在 | |
| スバボン・ ババムボンシリ | タイ (コンケン大学 助教授) | 細菌性膿症に関する研究 | 1993年6月3日 -8月30日 | 論博研究者 |
| スバボン・ ババムボンシリ | タイ (コンケン大学 助教授) | 細菌性膿症に関する研究 | 1994年9月29日 -12月18日 | |
| スバボン・ ババムボンシリ | タイ (コンケン大学 助教授) | 細菌性膿症に関する研究 | 1995年8月28日 -11月25日 | |
| ヘザー・アリス・ サドリッシュ | カナダ (三菱化学 研究員) | C. difficile に関する研究 | 1994年4月10日 -4月29日 | |

6 論文博士号取得希望者の受入れ状況

日本学術振興会の行う外国人論博研究者に対する支援事業によるアジア諸国からの研究者を受入れ、学位取得のための研究指導を行い、また、必要に応じ研究指導者を相手国に派遣し研究指導を行っている。

論博研究者受入れ状況一覧（平成 5 年度～）

（以下リンク内容）

論博研究者受入れ状況一覧（平成 5 年度～）

| 氏 名 | 国 籍 | 研 究 題 目 | 受 入 期 間 |
|-----------------------------|-------|--|-----------------|
| Teofil O. L San Luis Jr | フィリピン | 甲状腺機能亢進症及び低下症の自己免疫機序の研究 | H 5. 8.10～ 9. 8 |
| Supaporn Puapermpoonsiri | タイ | Mobiluncus 菌と細菌性膿症に関する研究 | H 7. 8.28～11.25 |
| Peter Kovacs | ハンガリー | 細胞情報伝達機構の分子遺伝的解析 | H 7. 9.27～11.27 |
| Sunee Korbsrisate | タイ | 遺伝学（シュードマレイ菌のべん毛構造遺伝子の解析と診断法の確立） | H 7.10. 2～11.30 |
| Esperanza C. Cabrera | フィリピン | 抗酸菌の遺伝学的同定及び検出方法の研究・抗酸菌のメッセンジャー RNA を使った感受性の測定 | H 8. 2. 1～ 3.31 |
| Mariette Gerber | フランス | 地中海地方の食生活と日本の食生活の比較研究 | H 8. 3.28～ 4.26 |
| Esperanza C. Cabrera | フィリピン | 抗酸菌の薬剤感受性の遺伝学的検出方法 | H 8. 9.17～10.23 |
| Supaporn Puapermpoonsiri | タイ | Mobiluncus 菌と細菌性膿症に関する研究 | H 8.10. 3～12.26 |

研究指導者の派遣状況一覧（平成 5 年度～）

（以下リンク内容）

研究指導者の派遣状況一覧（平成 5 年度～）

| 氏 名 | 派 遣 先 | 目 的 | 派 遣 期 間 |
|---------|-------|------------------------|-----------------|
| 渡 邊 邦 友 | タイ | 論博研究者（日本学術振興会）の研究指導のため | H 7. 1. 7～ 1.13 |

7 海外の大学との交流協定の締結状況と活動状況

医学部が主軸となって大学間交流協定を結んでいるのは次の 3 大学である。

(以下リンク内容)

| 大学名 | 国名 | 協定締結日 |
|----------|---------|------------|
| 浙江医科大学 | 中華人民共和国 | 1987年4月22日 |
| 中国医科大学 | 中華人民共和国 | 1987年8月15日 |
| サントトマス大学 | フィリピン | 1994年6月14日 |

交流活動

- ・1984 年 8 月 赤星病院長が中国医科大学及び北京医学院を訪問し、特別招待公演及び研究情報交換を行った。
- ・1986 年 5 月 磯野学部長が浙江医科大学を訪問し、学術交流及び視察を行った。
- ・1986 年 9 月 磯野学部長が中国医科大学を訪問し、学術交流及び視察を行った。
- ・1986 年 9 月 山本病院長が浙江医科大学及び中国医科大学を訪問し、学術交流及び視察を行った。
- ・1989 年 11 月 浙江医科大学から校長が来訪し、留学生の研究状況の視察及び学術交流を行った。
- ・1990 年 8 月 江崎教授が浙江医科大学及び中国医科大学を訪問し、国際交流促進のため情報交換を行った。
- ・1990 年 10 月 サントトマス大学から医学部長、理学部長が来訪し、共同研究者の竹内教授を交えて学術交流を行った。
- ・1991 年 9 月 立松助教授、奥富講師が浙江医科大学を訪問し、公演及び技術提供を行った。
- ・1991 年 11 月 インドネシア大学から学長、副学長及び工学部長が来訪し、学術交流を行った。
- ・1992 年 1 月 浙江医科大学から副校長が来訪し、留学生を交えて学術交流を行った。
- ・1992 年 10 月 磯野学部長、森教授、宮田教授が浙江医科大学を訪問し、国際交流の促進及び招待公演を行った。同大学校長から磯野学部長に両校間の学術交流促進の功績に対し感謝状と客員教授の称号が贈られた。
- ・1993 年 10 月 浙江医科大学から学長、外事処長が来訪し、医学情報交換及び視察を行った。
- ・1994 年 9 月 浙江医科大学、中国医科大学及びサントトマス大学から学長等が来訪され、医学部創立 50 周年・同附属病院創立 120 周年記念式典等に参加及び学術交流を行った。
- ・1995 年 5 月 松永学部長が浙江医科大学及び上海第 2 医学院を訪問し、学術講演及び研究情報交換を行った。
- ・1995 年 9 月 松永学部長、岡地事務部長、日比野看護部長が、中国医科大学及び積水譚医院进行し、学術講演及び学術情報交換を行った。
- ・1996 年 5 月 浙江医科大学から副学長ほか 7 名が来訪し、臨床医学教育について視察ならびに意見交換を行なった。